

新明小だより

東松山市立新明小学校
学 校 だ よ り
8 月 号
令和8年7月17日

学校教育目標 まなぶ・つながる・やりぬく

～ 新たな挑戦 明るい未来へ 希望あふれる新明小学校 ～ 校長 稲村 浩之

保護者の皆様へ 大切な力は見えないところで育つもの



7月7日の七夕を前に、1年生の廊下には七夕飾りが置かれ、子どもたちが思い思いの願いを書いた短冊が風に揺れていました。「サッカーが上手になりますように」「家族が元気でいますように」など、一枚一枚の短冊から、子どもたちの素直な思いや夢が伝わってきます。

私も子どもたちの仲間に入れてもらい、「みなさんが笑顔で生活できますように」と短冊に書いて飾りました。子どもたちの願いを眺めながら、学校が子どもたちにとって安心して学び、笑顔で過ごせる場所であり続けたいという思いを新たにしました。

その七夕飾りを見ながら、竹の成長について思い出しました。竹は、一日に一メートル近く伸びることがあると言われます。しかし、その成長を支えているのは、地面の下でしっかりと広がった根です。目には見えないところで根を張り、土台をつくっているからこそ、まっすぐ力強く伸びていくことができます。

～児童の皆さんへ 終業式より～

明日から、いよいよ夏休みです。私から、みなさんに一つお願いがあります。

それは、「自分の根を育てる夏休みにしてほしい」ということです。

毎日少しでも本を読むこと、お手伝いを続けること、苦手なことにも挑戦してみることで自分の力になります。

竹も、地面の下でしっかりと根を張るからこそ、大きく成長します。みなさんも、この夏休みに目には見えない力をたくさん蓄え、9月には一回り成長した姿を見せてください。そして、一番大切なのは、自分の命を守ることです。交通事故や水の事故、熱中症には十分気を付け、元気で楽しい夏休みを過ごしてください。

9月に、笑顔いっぱいみなさんに会えることを、先生方みんなで見守っています。

